



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 理研グリーン

コード番号 9992 URL <http://www.rikengreen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 細川寛治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 石上廣

TEL 03-6802-8301

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,725	4.0	28	—	30	—	0	—
27年3月期第1四半期	2,621	△0.8	△47	—	△45	—	△61	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △87百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △53百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	0.10	—
27年3月期第1四半期	△9.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	10,831	5,898	53.1
27年3月期	10,939	6,019	53.7

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 5,751百万円 27年3月期 5,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,900	0.7	240	△6.1	240	△5.7	190	73.3	29.25
通期	11,800	3.1	330	0.6	330	1.4	230	79.0	35.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	6,691,300 株	27年3月期	6,691,300 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	196,835 株	27年3月期	195,969 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	6,494,465 株	27年3月期1Q	6,496,652 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、各種経済政策などを背景として緩やかな景気回復基調が続いておりましたが、海外経済の低迷が懸念され、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

消費増税による反動も終息しつつある状況の下、当社グループは、地域に密着した積極的な営業活動を推進し、新規剤及び主力商品の拡販ならびに新たな販路の開拓に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は27億2千5百万円（前年同期比4.0%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は2千8百万円（前年同期は営業損失4千7百万円）、経常利益は3千万円（前年同期は経常損失4千5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は0百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失6千1百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況については、以下のとおりであります。

〔緑化関連薬剤・資材事業〕

ゴルフ場の経営合理化が継続される中、気象条件も低温・乾燥気味に推移したことにより、病害虫の発生は例年に比べ低下傾向にありましたが、消費増税による反動も終息し、新剤及び主要剤の販売は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は21億9千万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は1億4千万円（前年同期比151.6%増）となりました。

〔産業用薬品事業〕

パルプ剤及び防腐剤の販売は堅調に推移しましたが、異物除去剤及び剥離・コーティング剤の販売は前年を下回る厳しい状況の中、経費の削減による利益の確保に努めました。

この結果、当事業の売上高は4億1千6百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は2千4百万円（前年同期比32.3%増）となりました。

〔土木緑化工事事業〕

公共・民間工事とも依然として厳しい受注競争のなか、ゴルフ場関連工事や環境・防災関連工事の受注活動に努めました。

この結果、当事業の売上高は1千4百万円（前年同期比82.3%減）、営業損失は2千7百万円（前年同期は営業損失2千2百万円）となりました。

〔その他〕

その他は、保険代理業・リース業及び食品添加物の販売などで、当事業の売上高は1億3百万円（前年同期比12.8%増）、営業利益は4百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は108億3千1百万円で、前連結会計年度末に比べ1億7百万円の減少となりました。

これは、流動資産が3千9百万円の増加、固定資産が1億4千7百万円の減少によるものです。

負債は49億3千3百万円で、前連結会計年度末に比べ1千3百万円の増加となりました。

これは、流動負債が1億5千万円の増加、固定負債が1億3千7百万円の減少によるものです。

純資産は58億9千8百万円で、前連結会計年度末に比べ1億2千万円の減少となりました。

これはその他有価証券評価差額金8千9百万円の減少等によるものです。

この結果、自己資本比率は53.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期及び第2四半期の連結業績予想につきましては、平成27年8月10日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,259,144	1,388,008
受取手形及び売掛金	2,929,008	2,377,970
リース投資資産	189,831	185,359
商品及び製品	2,300,979	2,234,270
仕掛品	51,949	44,915
原材料及び貯蔵品	421,498	855,515
未成工事支出金	44,067	177,336
その他	181,448	153,104
貸倒引当金	△6,482	△5,498
流動資産合計	7,371,444	7,410,983
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,141,922	1,141,922
その他（純額）	373,153	379,934
有形固定資産合計	1,515,076	1,521,857
無形固定資産		
のれん	96,111	92,199
その他	15,812	14,953
無形固定資産合計	111,924	107,152
投資その他の資産		
投資有価証券	1,291,932	1,160,764
リース投資資産	255,683	230,210
ゴルフ会員権	230,177	230,177
その他	332,348	340,796
貸倒引当金	△168,914	△170,034
投資その他の資産合計	1,941,227	1,791,915
固定資産合計	3,568,228	3,420,925
資産合計	10,939,672	10,831,908

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,906,847	2,320,016
短期借入金	300,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	349,992	349,992
リース債務	192,075	192,996
未払法人税等	105,614	33,916
賞与引当金	144,225	58,556
その他	362,553	355,872
流動負債合計	3,361,307	3,511,350
固定負債		
長期借入金	495,849	408,351
リース債務	295,283	279,615
役員退職慰労引当金	146,511	149,570
退職給付に係る負債	477,702	483,292
その他	143,344	100,826
固定負債合計	1,558,690	1,421,656
負債合計	4,919,998	4,933,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,428	1,102,428
資本剰余金	1,328,851	1,328,851
利益剰余金	3,023,511	2,991,681
自己株式	△49,984	△50,303
株主資本合計	5,404,806	5,372,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	468,140	378,697
その他の包括利益累計額合計	468,140	378,697
非支配株主持分	146,726	147,546
純資産合計	6,019,674	5,898,901
負債純資産合計	10,939,672	10,831,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,621,123	2,725,302
売上原価	1,962,372	2,011,992
売上総利益	658,751	713,309
販売費及び一般管理費	706,631	684,568
営業利益又は営業損失(△)	△47,880	28,741
営業外収益		
受取利息	1	4
受取配当金	1,878	2,096
持分法による投資利益	-	95
受取賃貸料	2,164	1,964
雑収入	2,620	673
営業外収益合計	6,664	4,834
営業外費用		
支払利息	417	943
持分法による投資損失	2,977	-
貸倒引当金繰入額	-	136
為替差損	-	2,133
雑損失	775	-
営業外費用合計	4,169	3,213
経常利益又は経常損失(△)	△45,386	30,362
特別利益		
固定資産売却益	-	295
受取保険金	400	-
特別利益合計	400	295
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	210	2,000
訴訟関連費用	16,665	-
特別損失合計	16,876	2,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△61,862	28,657
法人税等	△1,594	27,238
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,268	1,419
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,415	773
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△61,683	646

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,268	1,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,425	△89,136
その他の包括利益合計	6,425	△89,136
四半期包括利益	△53,842	△87,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57,266	△88,796
非支配株主に係る四半期包括利益	3,423	1,079

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	緑化関連 薬剤・ 資材事業 (千円)	産業用薬品 事業 (千円)	土木緑化 工事事業 (千円)	その他 (千円) (注) 1	調整額 (千円) (注) 2	四半期連 結損益計 算書 (千円) (注) 3
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,022,001	425,178	81,988	91,955	—	2,621,123
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,398	—	775	6,091	△10,264	—
計	2,025,399	425,178	82,763	98,046	△10,264	2,621,123
セグメント利益又は 損失(△)	55,866	18,719	△22,574	4,683	△104,575	△47,880

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業・リース業及び食品添加物の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△104,575千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	緑化関連 薬剤・ 資材事業 (千円)	産業用薬品 事業 (千円)	土木緑化 工事事業 (千円)	その他 (千円) (注) 1	調整額 (千円) (注) 2	四半期連 結損益計 算書 (千円) (注) 3
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,190,933	416,134	14,516	103,718	—	2,725,302
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,305	—	—	5,749	△11,054	—
計	2,196,238	416,134	14,516	109,467	△11,054	2,725,302
セグメント利益又は 損失(△)	140,560	24,767	△27,438	4,276	△113,425	28,741

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業・リース業及び食品添加物の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△113,425千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。